

ご存じですか？

千葉県には163か国、約16万7千人(南房総市約400人)の外国人住民が暮らしています(2020年12月末日現在)。

中には、日常生活に必要な日本語を身に付けたい、もっと日本人と話したいという方が少なくありません。この講座では、講義やグループワークを通して、お互いの文化を理解する上での心構え、日本語を第一言語としない人とのコミュニケーション、日本語学習支援の方法などについて学んでいきます。講座をとおして、身近なところから多文化共生のまちづくりに関わってみませんか？

# 日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座 in南房総

—多文化共生のまちづくりをめざして—

〈オンライン(一部対面)開催〉



チーバくん

・主催 千葉県 (公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー 受託)

・日時 13:00~15:30 (全5回)

第1回 令和4年 6月 5日 (日)

第2回 6月11日 (土)

第3回 6月18日 (土)

第4回 6月25日 (土) ※対面開催 (但し、新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催に変更の可能性あり)

第5回 7月 2日 (土)



みなたん  
南房総市  
イメージキャラクター  
「みなたん」

第4回会場  
千倉保健センター  
…JR内房線 千倉駅  
から徒歩10分

- ・内容 外国人学習者の背景理解、多文化共生、日本語学習支援の方法、地域日本語教室の実践、相互理解とコミュニケーション等
- ・対象 18歳以上。南房総市またはその周辺地域で行われる外国人との交流や日本語学習支援外国人との市民活動に興味がある方で、全5回全ての講座に出席できる方。

※令和3年度「日本語学習支援と文化理解を学ぶ講座」を受講した方はご応募できません。

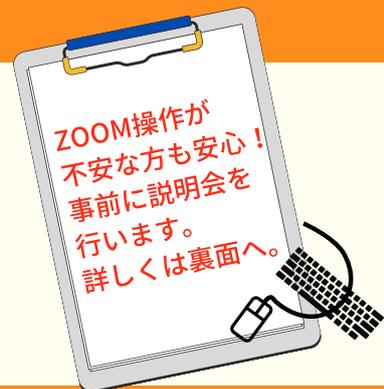
・参加方法 オンライン (Zoomを使用)  
(パソコンやタブレット等の視聴機器およびインターネット接続環境が必要です)

※6月25日は対面開催を予定

・定員 30名  
(先着順、ただし活動可能な地域を考慮いたします)

・受講料 無料

・申込期限 5月23日 (月) 必着



・申込方法 千葉県国際交流センターホームページ <https://www.mci.or.jp/> の日本語学習支援者講座申込専用ページからお申込みください。または、下記URL、左のQRコードから応募フォームにアクセスできます。

・詳しい講座内容は裏面をご覧ください。

お問い合わせ：(公財)ちば国際コンベンションビューロー 千葉県国際交流センター

TEL：043-297-0245 E-mail：nihongo@ccb.or.jp

応募フォームURL：<https://req.qubo.jp/mci/form/R4nihongokisominamiboso>

## 日時・内容・担当講師

### 第1回 令和4年

6月5日(日)  
13:00~15:30

### 『学習者の背景を理解し、「文化」とは何か、 「多文化共生」とは何かを考える』

地域日本語教室が対象とする学習者についての理解を深め、「多文化共生社会」においてそれぞれ「文化」をどう捉えていけばよいのか、みんなで考えます。

徳永 あかね (神田外語大学外国語学部准教授)



### 第2回

6月11日(土)  
13:00~15:30

### 『やさしい日本語でやさしい交流・コミュニケーション の基礎を学ぶ』

やさしい日本語とは何でしょうか。日本語でのやりとりに慣れていない外国人との相互理解には工夫が必要です。コミュニケーションの大切なポイントを一緒に学んでいきましょう。

高橋 道恵 (千葉科学大学日本語教育非常勤講師)



### 第3回

6月18日(土)  
13:00~15:30

### 『市民活動としての学習支援の方法』

ひとりひとりの居場所のある地域社会をめざすために、学習支援の具体的な方法を皆さんと一緒に考えていきます。事例やグループワークを通し、地域の日本語学習支援における「対話」のポイントを学びます。

吉田 曜子 (国際協力日本語学院日本語教師)



### 第4回

6月25日(土)  
13:00~15:30

### 『学びの場(地域日本語教室)の実践』

多様な人々が集まる「学びの場」だからこそ可能になる活動とはどんなものがあるでしょうか。相互理解を目指した教室活動の実践を見たり、実際に日本語学習者とグループワークをしたりしながら、「学習者と対等な立場の伴走者」としての活動を学びます。

油川 美和 (日本語教師、プログラムコーディネーター)



### 第5回

7月2日(土)  
13:00~15:30

### 『多文化共生のまちづくりを目指して』

コミュニケーションを通して相互理解を深めたり、日本語学習支援に参加したりするには、どのような取り組みをすればよいでしょうか。これまでの学びをふりかえり、一人一人がどのように「多文化共生のまちづくり」に関わっていけるかを考えます。

吉野 文 (千葉大学大学院国際学術研究院教授)



### 『ZOOM操作の事前説明会』(任意参加)

6月2日(木)  
14:00  
~  
16:00

ZOOMへの接続、グループワーク時の操作、Googleフォームの使用方法を確認します。オンライン操作が不安な方は是非ご参加ください。

※安房地域にお住まいの方には、6月2日(木)に下記の会場を設けます。(13:30から対面での事前サポートあり)

ZOOMへの接続が不安な方は、ご自身のパソコン等を持参のうえご来場ください(任意参加)。

会場：南房総市役所本庁舎 別館1 1階 大会議室

《注意事項》本講座は文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用して実施するものです。講座では、カリキュラム改善を目的として講座の様子を録音、録画する場合があります。また、講座内でのアンケートや振り返りデータを使わせていただきます。データは個人が特定されない形で文化庁に提出するとともに、研究会等での発表に使用する可能性があります。ご理解、ご了承のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。



文化庁

令和4年度 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業 活用